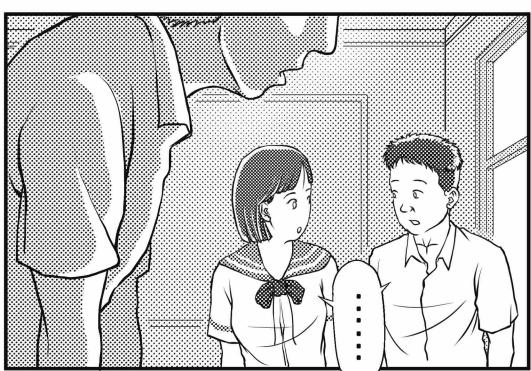
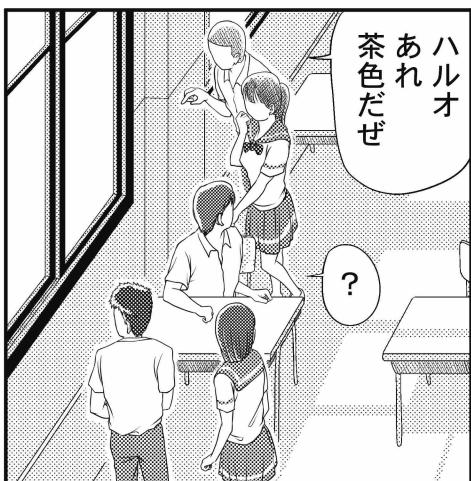
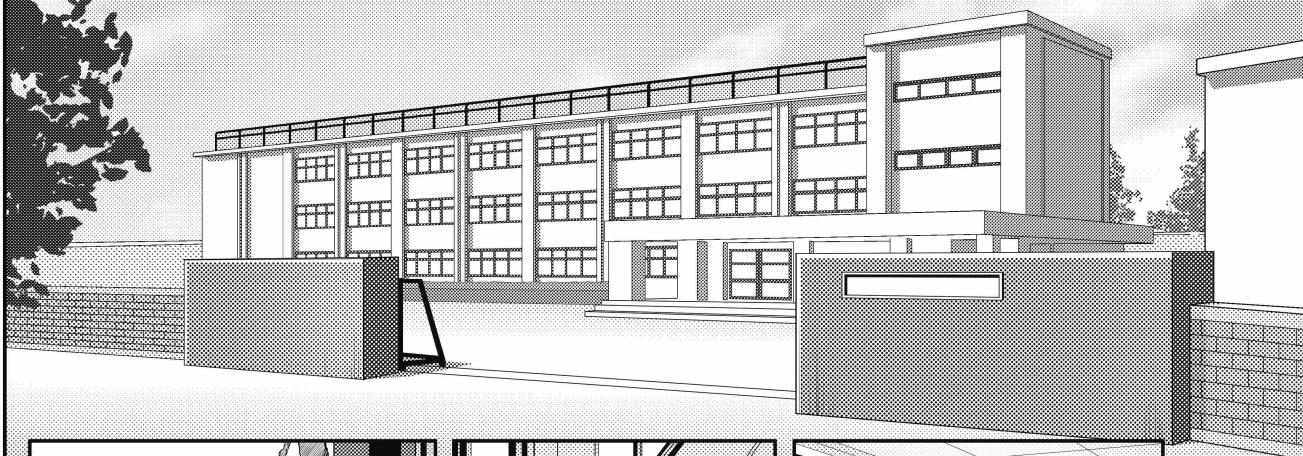
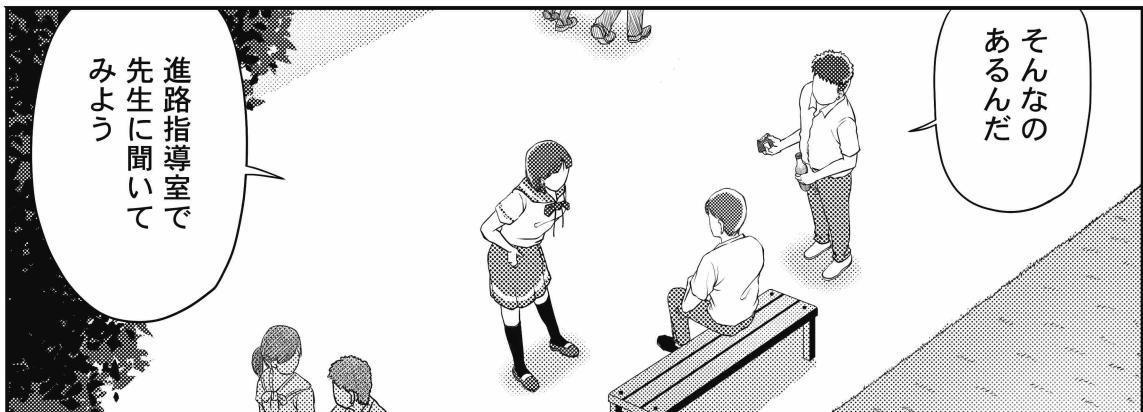
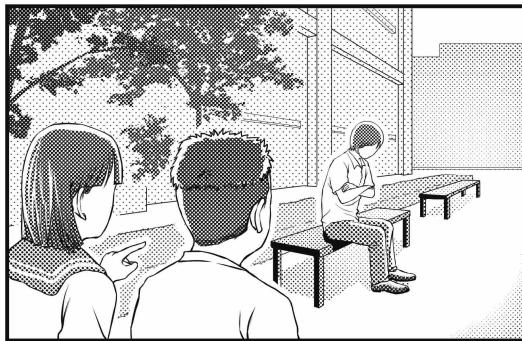


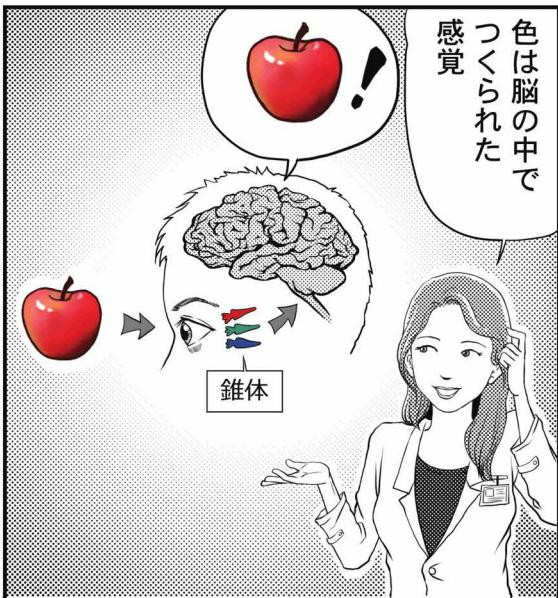
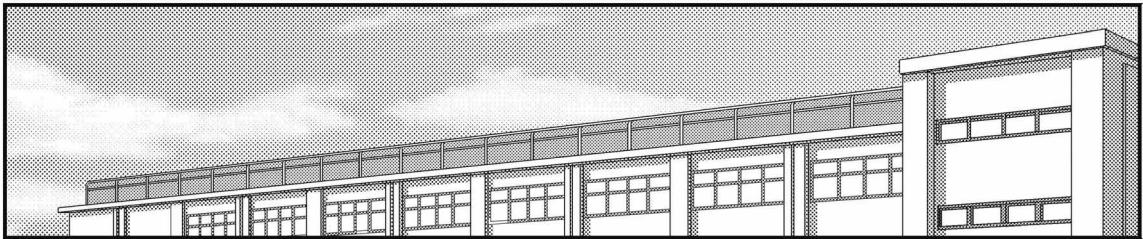
検査のまえによむ色覚の本



しきかく学習
カラーメイト



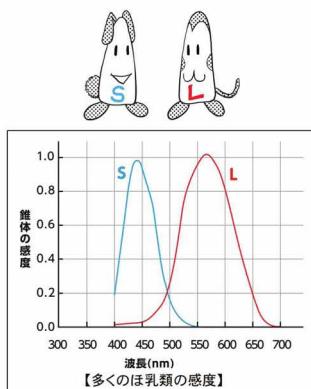




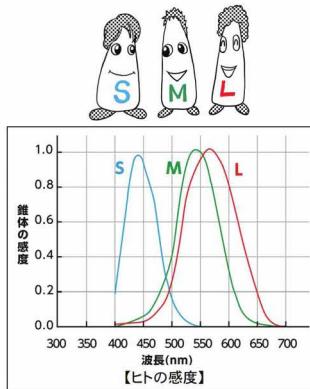


ヒトの錐体は
「L（赤）」「M（緑）」
「S（青）」の3種類で
それぞれの反応を脳が受け
て認識している

色とじで語る
3色型色覚だ



生き物によつて数がちがう
錐体の種類は

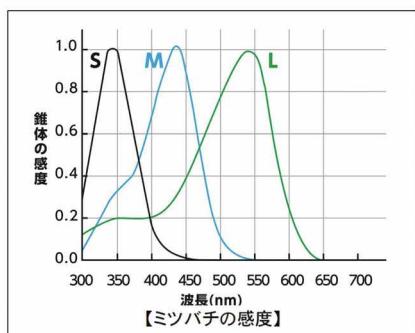


鳥類は4色型で区別できる色の種類はヒトより驚くほど多い



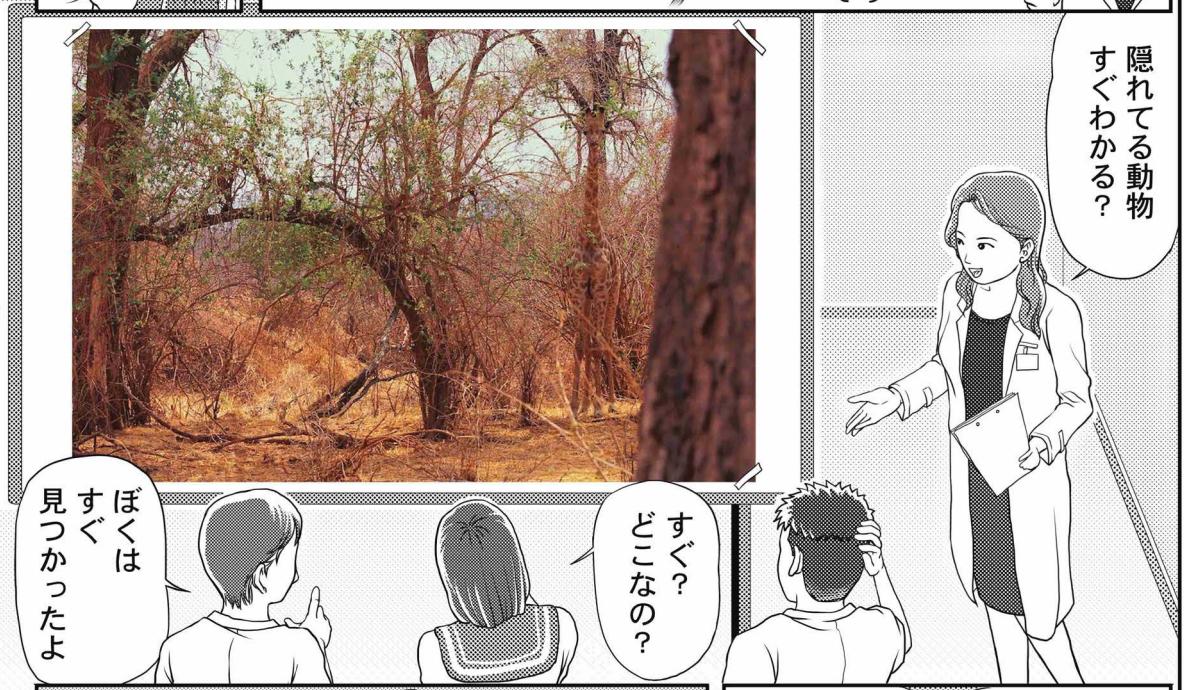
【鳥とヒトの見え方の想像図】

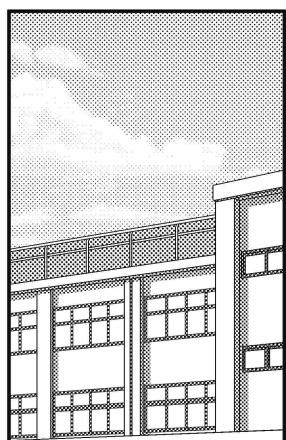
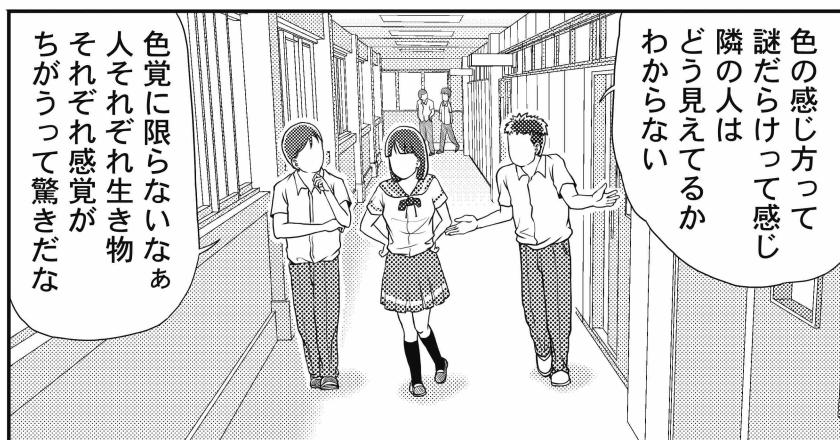
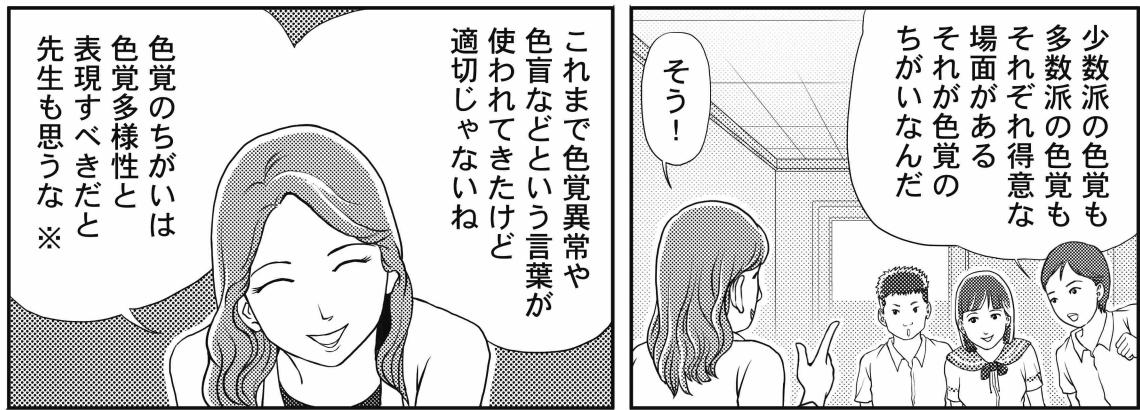
錐体の種類は多いほど
色の区別はたくさん
できる

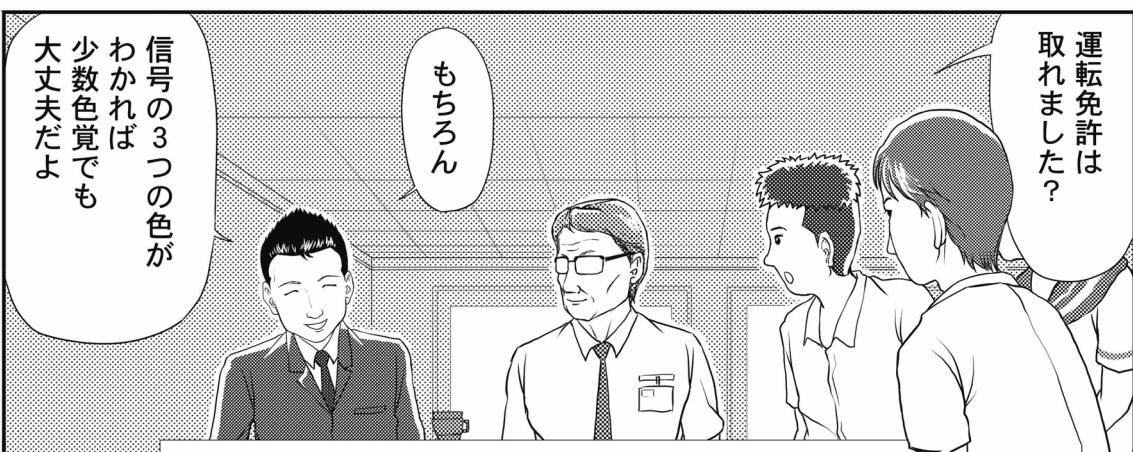
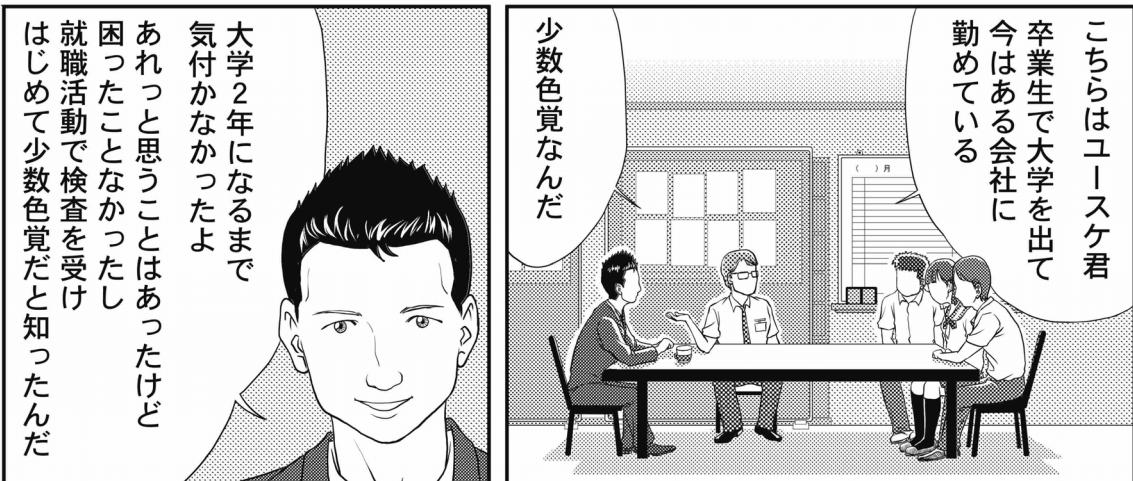


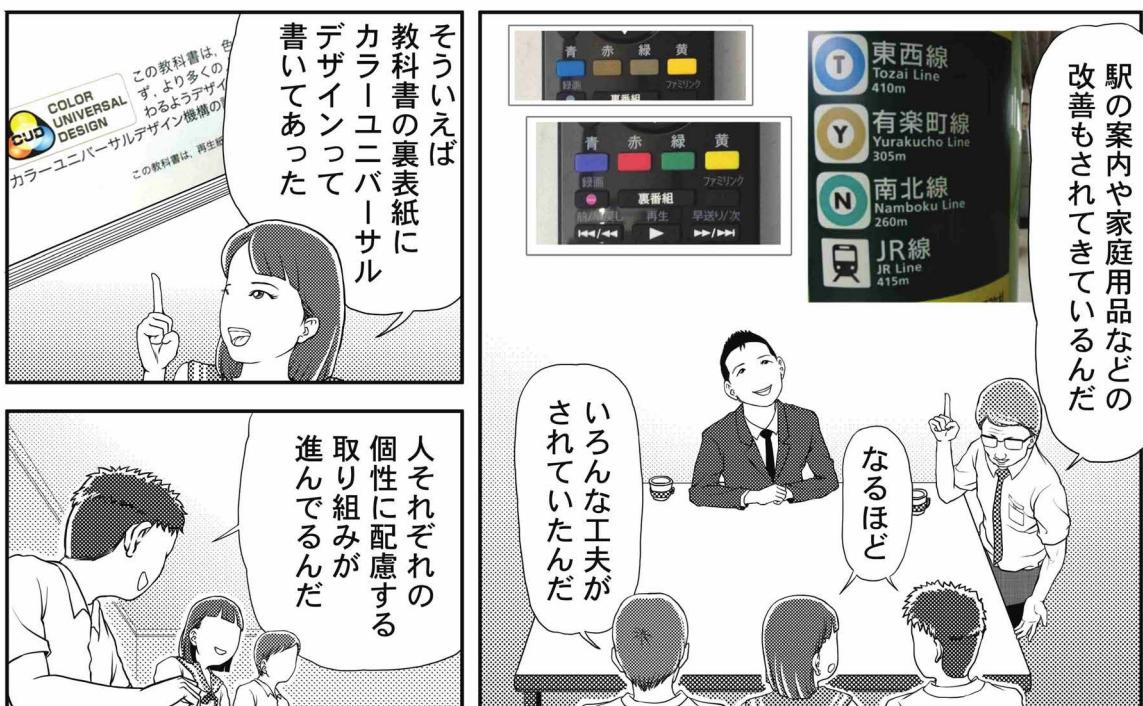
センサー感度は
生き物によつてもちがう
さらに感度の
重なり方も異なり
色の区別に差が出てくる











色覚検査のこと

色覚検査が始まつたのは1875年です。スウェーデンで起きた事故が発端です。



※21世紀になり、事故の原因と少數色覚の関係は明らかではないという見解が一般的になっています

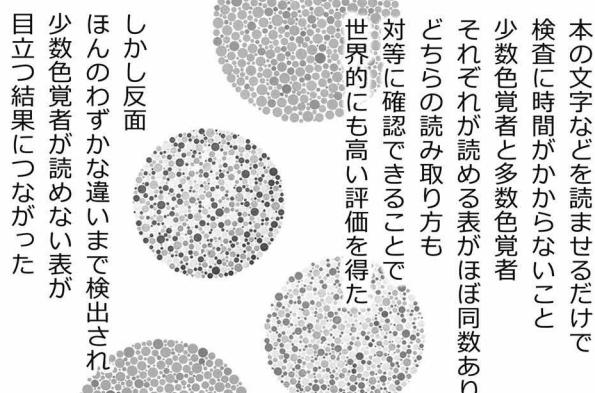
当時の検査は同じ色の毛糸を抜き出すというものだ



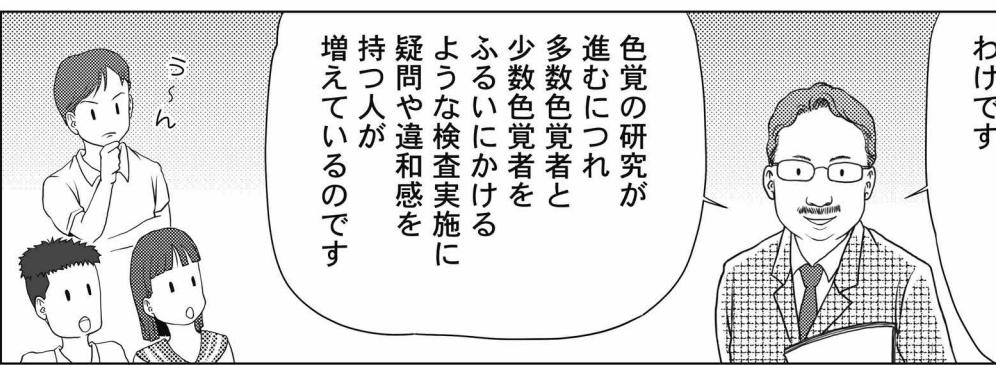
【石原式仮性同色表】

その後、1916年にとても優れた色覚検査が日本で作られた

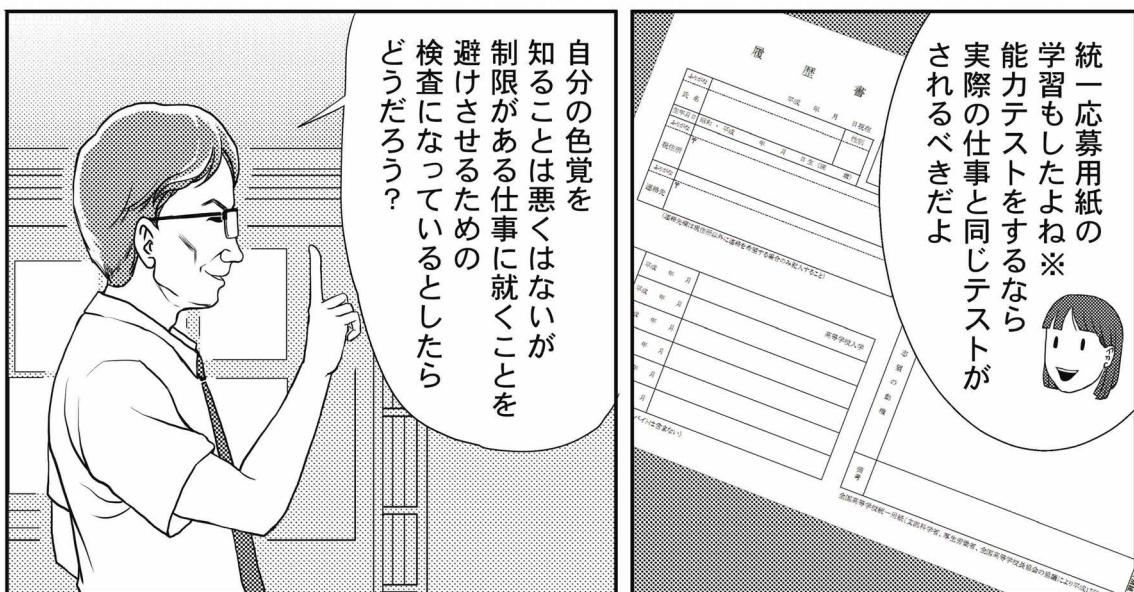
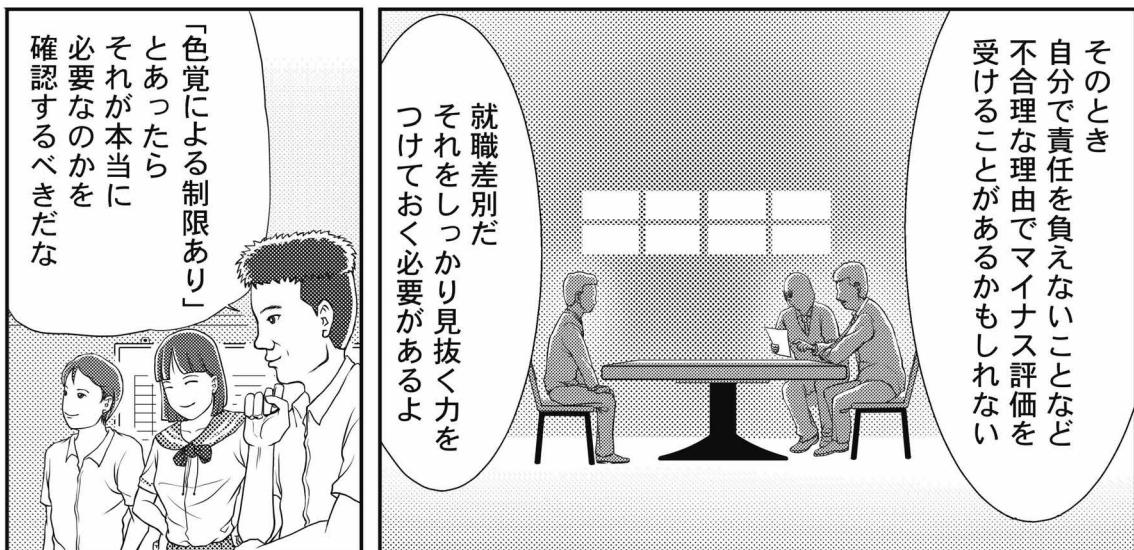
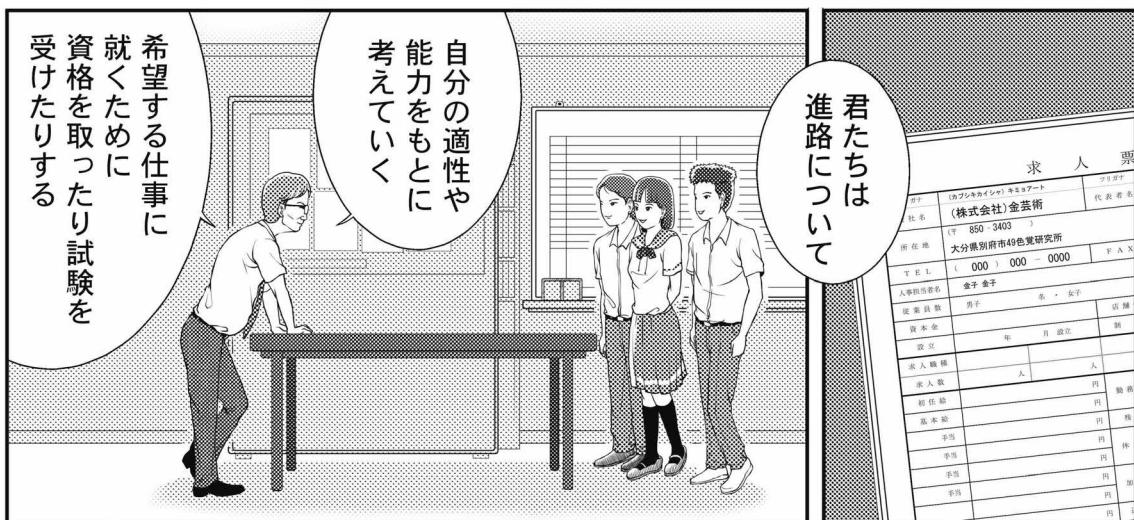
【羊毛法色覚検査】

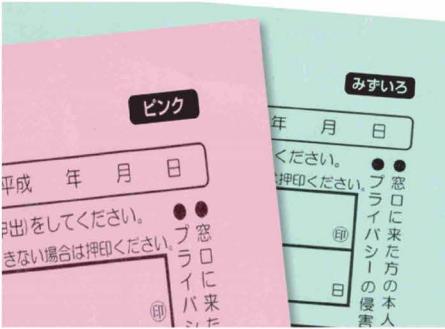


また「色盲」や「色覚異常」という言葉が広く使われるようになり



※高校卒業詩の就職差別を排除する目的で作られた応募書類のこと

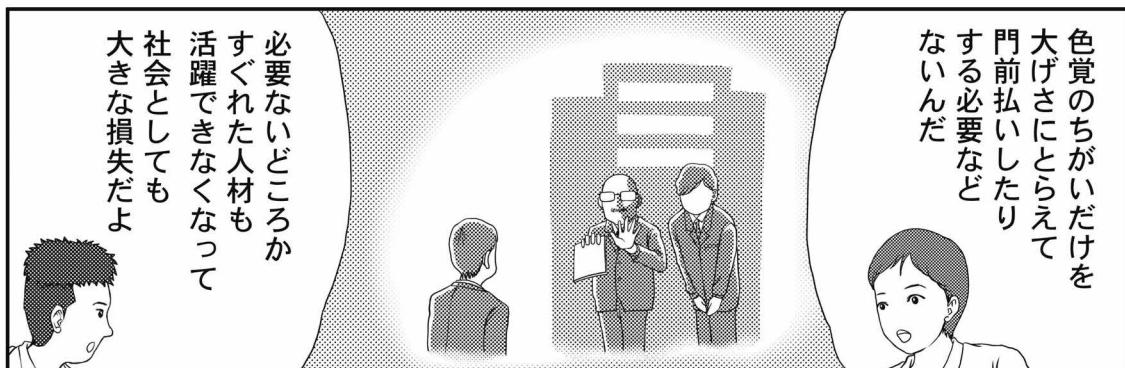




色覚のちがいにかかわらず
わかりやすい色使いや工夫を
していけば
仕事で困ることも
なくなるわよ

そもそも
正常か異常かの
二つに分けられる
ものじゃないわね
見え方が
どうちがうかも
わからないし

それが
具体的に
わからないと
仕事にどんな支障が
出るかどうかも
わからない



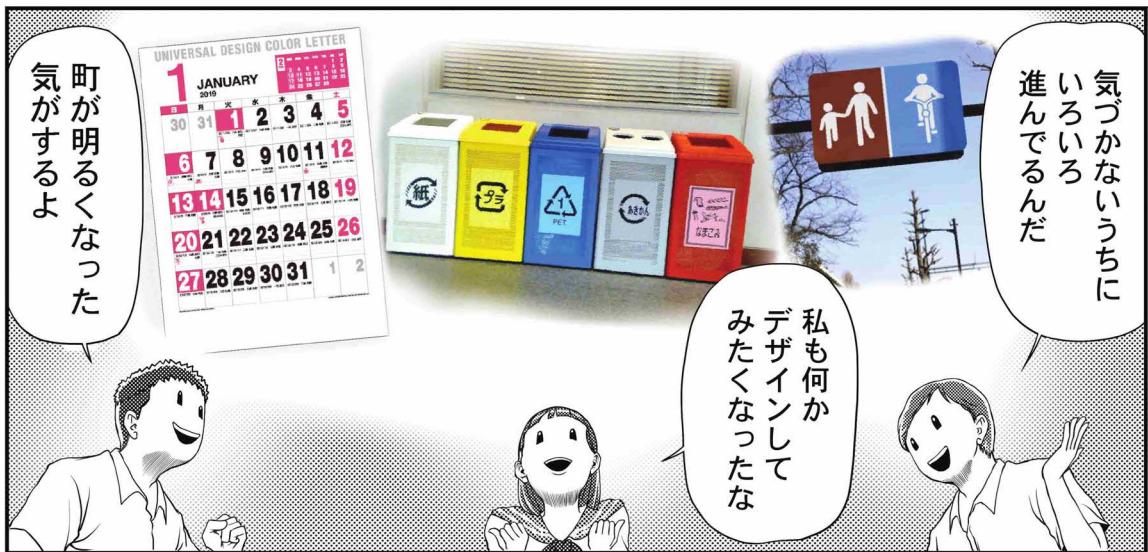
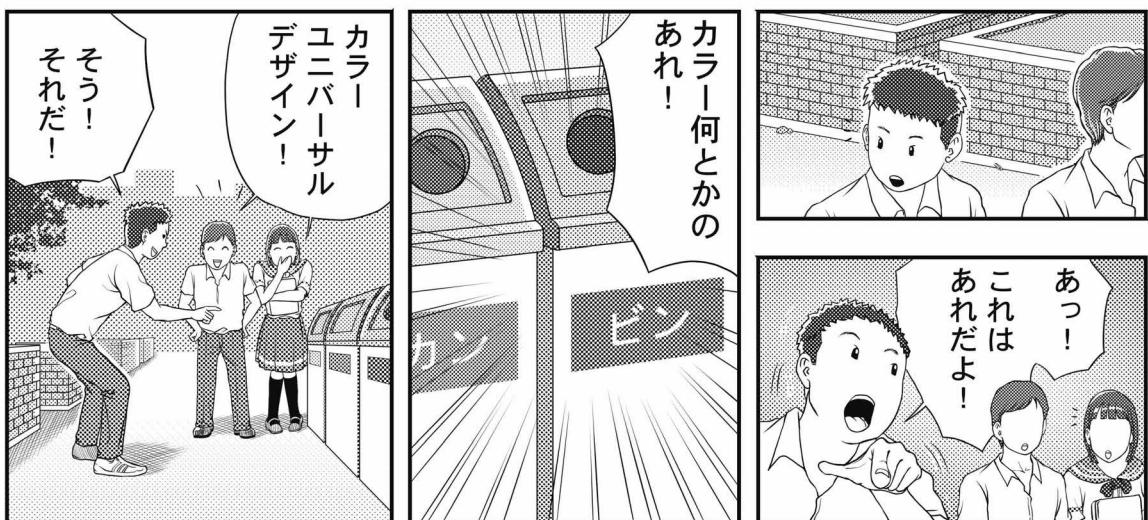
必要などころか
すぐれた人材も
活躍できなくなつて
社会としても
大きな損失だよ

厚生労働省の
「公正な採用選考を
めざして」
読まれましたか？

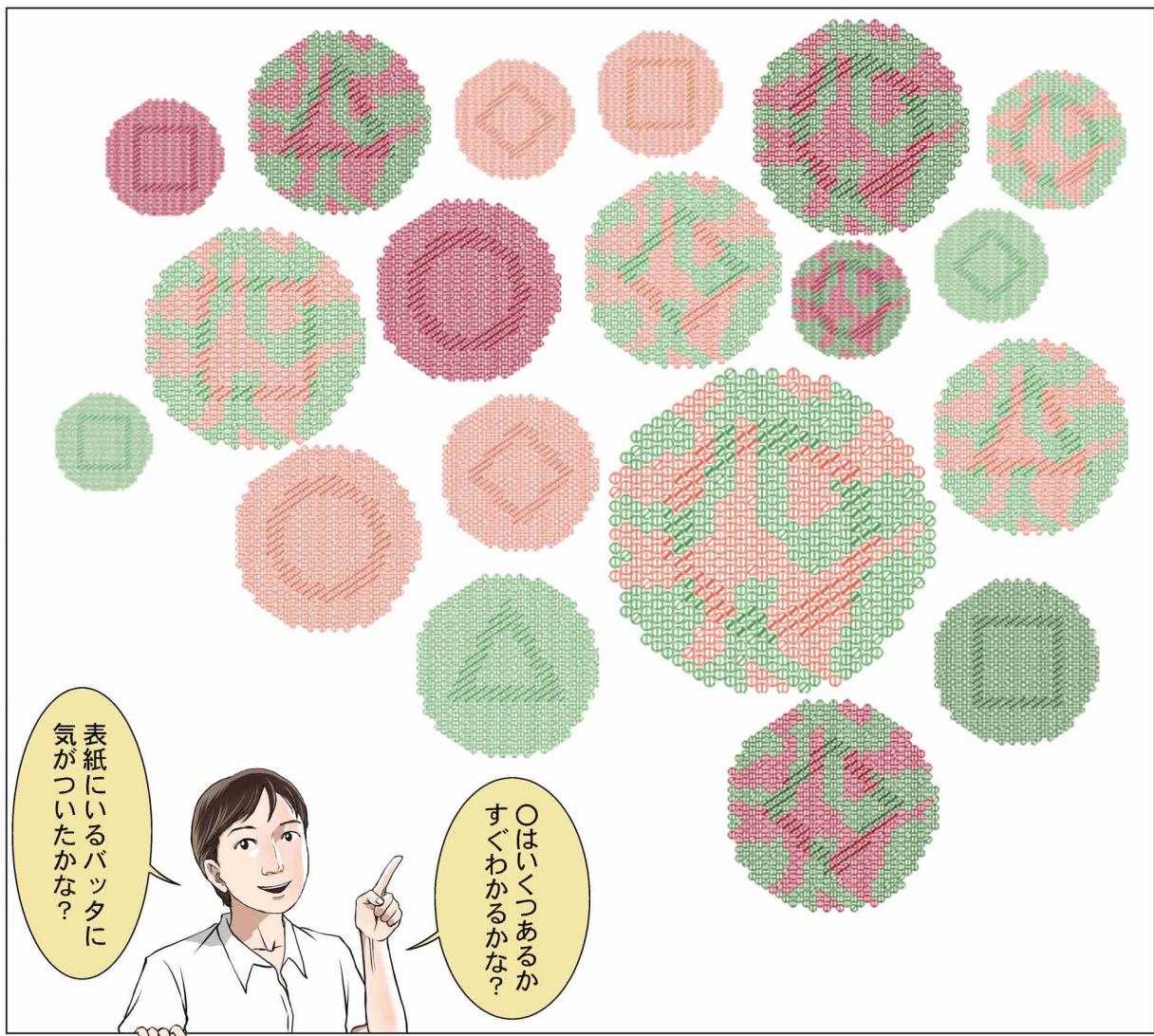
先生たちも
不合理なことを
見つけたら事業所に
申し入れたり
しているんだ

採用選考で
不合理な制限を付けたり
検査や健康診断で
抜き出すことこそ
あつてはならない
ことよ









【おことわり】

本冊子は人権問題として色覚を考える学習資料です。多くの人と異なる色覚やそれを有する人には社会的少数者としての人権問題があるという考え方から、医学用語ではなく、特徴を「少数民族」、人を「少数民族者」と称しています。

色覚の分類

| 先天少数民族色覚 | 錐体 | | | 桿体 | 日本人男性の出現率 | 眼科学会の呼称 |
|-----------|--------|----|---|----|--------------|---------|
| | S | M | L | | | |
| 多数色覚(3色覚) | C型 | ○ | ○ | ○ | 約95% | 正常色覚 |
| 少先色覚 | 少數3色覚 | P型 | ○ | ☆ | 約1.5% | 1型3色覚 |
| 先天少数民族色覚 | 先天性2色覚 | D型 | ○ | ☆ | 約3.5% | 2型3色覚 |
| 少先色覚 | 2色覚 | P型 | ○ | ○ | T型 約0.001%以下 | 1型2色覚 |
| 少先色覚 | 2色覚 | D型 | ○ | ○ | | 2型2色覚 |
| 少先色覚 | 錐体1色覚 | T型 | ○ | ○ | 約0.001% | 3型2色覚 |
| 少先色覚 | 桿体1色覚 | A型 | ○ | ○ | | 1色覚 |

○ = 機能させている

☆ = ○とは異なる波長感度をもっている

原 作 しきかく学習カラーメイト(代表 尾家宏昭)
マ ン ガ 金孝源=キム・ヒョウォン

(別府大学 文学部 国際言語・文化学科 芸術表現コース 専任講師)

脚色協力 田代しんたろう(漫画家)

監 修 平松千尋(九州大学芸術工学研究院 デザイン人間科学部門 助教)

画像提供 Klaus Schmitt, Ph.D, Weinheim, Germany

Martin Stevens, Professor, University of Exeter, UK

齋藤慈子(上智大学 総合人間科学部心理学科 准教授)

複写禁止

配色を厳密に管理し作成しています。誤解を招かないためにも複写・無断転載・ディスプレイでのご利用は固くお断りします。

Copyright (C)2019 Color Mate All Rights Reserved. 2019年1月26日 初版 第1刷発行

しきかく学習
カラーメイト

<https://color-mate.net/>
info@color-mate.net

